

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第4回定例会
- 2 開催日時 平成28年3月18日(金) 午後2時30分～5時
- 3 開催場所 木更津市立中央公民館 1階 大ホール
- 4 出席者氏名

【公民館運営審議会委員】18名

平野 千津子	平岡 憲子	本多 二三代	村上 淑子
石井 京子	松尾 玲子	青木 健	古藤田 憲之
三上 由美子	鈴木 正	森田 美保子	鳥取 真由美
山田 治子	渡利 明	安藤 清康	澤邊 賢司
瓜田 栄一	菅原 興二		

【公民館長】15名

渡邊 雅夫 (中央公民館)	伊藤 孝 (文京公民館)
高橋 栄二 (富来田公民館)	伊藤 勉 (八幡台公民館)
江野澤 和彦 (岩根公民館)	泉水 義治 (東清公民館)
石塚 幸一 (鎌足公民館)	原 敏美 (清見台公民館)
小原 俊郎 (金田公民館)	山口 玲子 (畑沢公民館)
小川 恵市 (中郷公民館)	本多 豊 (西清川公民館)
加藤 芳生 (富岡公民館)	根本 弘 (波岡公民館)
	林 正巳 (桜井公民館)

【事務局職員】4名

星野 隆弘 (中央公民館主幹)
齋藤 礼司郎 (中央公民館主査)
栗本 優 (中央公民館主事)
稲村 員代 (中央公民館社会教育指導員)

- 5 議 題 議案第1号 地域づくりとこれからの木更津市の公民館事業のあり方について（答申）
- 議案第2号 平成27年度公民館事業実施結果について
- (1) 平成27年度公民館重点目標・施策に対する取組結果
- (2) 「木更津市公民館研究集会“郷土を学ぶ”」の実施結果
- (3) 各公民館の事業重点目標に対する取組・成果と課題
- 報告事項 (1) 各種選出委員からの活動報告
- (2) その他

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴人の数 0人

8 会議概要 以下のとおり

*開会に先立ち、事務局より委員の出席状況について、定数20名に対し過半数18名の出席があり、木更津市立公民館運営審議会運営規則第6条の規定により、会議が成立した旨の報告が行われた。

続いて山田委員長が挨拶を行い、山田委員長の議長により審議に入る。

山田委員長：議案第1号「地域づくりとこれからの木更津市の公民館事業のあり方について」は、これまで6回にわたる諮問検討小委員会（以下「小委員会」という。）が開催され、今回答申案がまとまりましたので、青木小委員長から内容について報告をお願いします。報告を受けた後、委員の皆様からご意見等をいただきたいと思います。

*青木小委員長から答申案に沿って、最初に「1 公民館をとりまく地域の現状と課題について」の内容を報告。

*山田委員長が質問や意見等を求めたが、特になし。

*青木小委員長から「2 教育機関としての公民館の今日的役割」の内容について報告。

*山田委員長が質問や意見等を求めたが、特になし。

*青木小委員長から「3 これからの公民館事業に求められるもの」の内容について報告。

*山田委員長が質問や意見等を求める。

鈴木委員：6ページに「アンケート結果」とあるが、アンケートの中身はどういった内容だったのでしょうか。

*青木小委員長、渡邊中央公民館長から、平成27年10月に公民館利用者を対象に実施したアンケート調査の概要について説明。

鈴木委員：企業等との連携・協働については、具体的にどのようなことを想定しているのか教えてほしい。

古藤田委員：民間企業も地域社会を構成する一員として、地域に貢献していくことが期待されています。例えば、公民館によっては、文化祭の一環として公民館と地元企業が連携した催しなども行なわれており、目的や内容によって公民館と企業が連携して事業に取り組むことも、地域づくりを進める上では効果的であるという議論から入れました。これからは、直接的な営利活動に結びつかなければ、地元企業と地域のつながりを深めていくことも必要ではないかということです。

村上委員：アンケートの対象人数が208人ということですが、利用者数に対して数が少ないと思うのですが。また、7ページに「地域の伝承」とあるが、具体的に地域の何を伝承するのか教えてほしい。

*事務局から、アンケート調査の経緯や小委員会内でアンケート結果を参考にするために、短期間で調査や集計が必要であったこと、また、「伝承」を「伝統」という表現に訂正してほしい旨を説明。

村上委員：「伝承」だと何を伝えていくのかがわからなかったので、「伝統」ならば了解しました。

*青木委員から「4 充実した公民館活動を推進していくために」の内容について報告。

*山田委員長が質問や意見等を求める。

安藤委員：答申の内容には、公民館だけでは解決できない問題も含まれています。市政協力員の中にも地域の協力に対して温度差があり、公民館はこの答申を受け

て、地域の活性化を図るために今後どのように取り組んでいくのか考えを聞かせていただきたい。

渡邊館長（中央）：公民館としては、答申の内容を尊重しながら今後の公民館運営や事業に活かしていくために、教育委員会としての新たな方針や方向性を定め、取組を進めていくことになります。

鈴木委員：答申案は、課題やこれからの公民館に求められる内容が網羅されており、わかりやすいです。求められる職員像についても、このような職員がいると市民としては有り難いです。

山田委員長：ただいまの発言は感想ということでしょうか。

森田委員：10ページに書かれている「防災機能を担う避難所の位置付け」の件ですが、以前避難所が開設された際に配られた毛布の数が足りず、避難者自身が持参したという話を聞きました。毛布などの備えについて、行政による十分な対応ができなければ、地域の方の寄付を受け入れるなど、各公民館で対応していくことはできないのでしょうか。

山田委員長：防災に関する取組を検討していくための参考意見とさせていただきます。

渡利委員：公民館が地域活動の拠点としての機能を果たしていくためには、耐震対策だけでなく、現状の施設規模のままで果たして対応が可能なのか、考えてほしい。

山田委員長：貴重なご意見としてお聞きします。

古藤田委員：補足になりますが、「おわりに」の部分（11ページ12行目以下）を改めて読み上げ、内容を確認したいと思います。

山田委員長：他に質問や意見等がないようでしたら、第1号議案の審議を終了いたします。本答申案に対してご承認いただける方は挙手をお願いいたします。全会一致により本答申案は承認されました。半年間にわたり熱心な議論を重ねてきた小委員会の皆様に、改めてお礼を申し上げます。なお、検討した結果につきましては、3月25日に公民館長に対して答申する方向で事務局と調整させていただきますのでご了承願います。

引き続き、議案第2号「平成27年度公民館事業結果について」の審議に移ります。最初に「公民館全体の重点目標・施策」に対する取組結果について、次に「木更津市公民館研究集会“郷土を学ぶ7”」の実施結果について、最後に「各公民館の主要事業の成果と課題」について簡潔に報告をお願いします。

* 「公民館全体の重点目標・施策」に対する取組結果について、渡邊中央公民館長から説明。

* 続いて「木更津市公民館研究集会“郷土を学ぶ”」の実施結果について、山口畑沢公民館長から説明。

* 最後に「各公民館の主要事業の成果と課題」について、各公民館長から3回に分けて説明。

第1回（中央、富来田、岩根、鎌足、金田）

第2回（中郷、富岡、文京、富岡、八幡台）

第3回（清見台、畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井）

渡邊館長（中央）：青少年教育事業では、多くの地域ボランティアの協力を得ることができました。特に、中学生ボランティアや東高のボランティアの参加により、世代間交流や地域との交流が深まりました。地域課題については、パソコン講座や市民講座、健康講座の開催で知識と実践両面の学習機会を提供できたのではないかと思います。健康に関する公開講演会「～病は気から～」では、160名を超える申込者があり、多くの市民の方の参加を得ることができました。また、高齢の利用者が多いことを考えて、サークルを対象にした救急救命講習会を実施し、好評でした。

高橋館長（富来田）：公民館だよりを通じて、地域との結びつきを強めるように心がけました。特色としては、館長の一言コーナーを編集後記に入れたり、文化・芸術活動の一環として芸術鑑賞教室を開催し、安価で質の高い芸術鑑賞ができました。来年度に向けて、参加人数の増加や高齢者の参加を促す内容を検討中です。

江野澤館長（岩根）：健康教室では生活習慣病について、高齢者福祉課、健康推進課と協力して食の大切を学習しました。岩根市民講座では、介護保険制度の改正や介護支援の重要性について学習し、また、高齢者の地域参加を促進するため、ほがら

か教室、地区社会福祉協議会、岩根東あいの会の3者協働による「高齢者の集い」を開催。さらに、地域づくりの推進に向けて、11月にまちづくり協議会を立ち上げました。利用者の高齢化が進む中、乳幼児家庭教育学級を支援していくための地域での体制作りを検討したいと考えています。

石塚館長（鎌足）：鎌足むかし発見講座、鎌足ふるさと訪ね歩きで、鎌足の歴史や自然を学べる絶好の機会として地域の良さを深めることができました。やまびこ家庭教育学級やどんぐり山の親子くらすでは、母親の交流と仲間作りと子育ての情報共有ができました。鎌足桜学級では、健康や趣味を中心に健康維持に取り組みました。野山歩き隊では、郷土の良さが再認識でき、文化祭では、鎌足中のボランティアが運営に参加し、年齢を越えた交流ができました。また、凧作り・凧揚げ大会や各種工作体験、花いっぱい運動などを通して地域に対する関心を持たせることができました。

小原館長（金田）：海彦の学校、生きがい探しクラブが3年目となり、新しい参加者が増えました。地域ぐるみでの青少年健全育成事業は、概ね目的を達成できました。なかよしクラブや浜っ子なかよしクラブは、参加者が増えました。働く母親が増え、家庭教育学級の開催は難しいのが現状で、PRの仕方を検討したいと考えています。金田らしいおもてなし文化を基調にした「文化祭」は、駐車場が狭いことが課題でしたが、この4月1日より近隣の駐車場を借りることができました。また、平成30年には「(仮称)金田地域交流文化センター」ができる予定であり、多くの駐車が可能となります。

山田委員長：ただいまの5館の公民館長からの報告に対して、質問や意見のある方はお願いいたします。

山田委員長 特にならなければ、次の報告をお願いいたします。

小川館長（中郷）：中郷小中学校と地域ぐるみの事業を行うことで、大人と子ども達との交流の機会が多くなりました。地域の暮らしに結びつく事業や行事に努めたことや、結果を公民館だよりで知らせることで、利用状況が昨年度を上回りました。利用状況や稼働率を上げるために、今後も地域とのつながりを大切にしたいと考えています。

加藤館長（富岡）：陶芸窯を利用したサークル活動により、子どもから大人まで幅広い利用者がありました。保険年金課、健康推進課との3者による健康課題についての講

習は好評でした。

伊藤館長（文京）：活動中でももの作り体験や自然体験が少ないので、「自然の家」を利用して自然や環境に対する意識を高めるようにしました。40才以上の男性を対象にしたお父さんの広場「らしんばん」では、認知症や腰痛予防など年齢相応の課題を取り上げました。65才以上の高齢者が対象の文京ふれあい教室では、健康増進と仲間作りを中心に取り組みました。今後は若年層の参加を増やすことが課題です。

伊藤館長（八幡台）：昔からの住民と比較的若い新住民の両者が住んでいる地域であるため、住民同士の交流を支援していくことを考えています。青少年の健全育成では、学校で学べないことを地域の大人との関わりの中で体験させることができました。八幡台郷土史講座では、有志で作成した八幡台地区の歴史マップを用いて、子どもと一緒に地域歴史散策を行いました。健康講座では、地域の健康づくりが図られました。八幡台自治会が中心となって設立した八幡台地区防災協議会では「避難所運営要領」を策定し、地区内の相互協力関係を築くことができました。今後は、公民館だよりをホームページにアップし、情報の届かない人にも広く宣伝していきたいと考えています。

泉水館長（東清）：地区文化祭のチャレンジ大会では、中学生ボランティアが自主的に活動を行うようになっています。はつらつ健康講座は、学級生の学習意欲が高く、自主的な運営がなされました。子育てが一段落した40代・50代の女性を対象としたすだち女性セミナーは、公民館を利用したことのない方も参加し、新たな交流が生まれています。参加者が多い東清さわやか学級は、地域外からの参加もあり、現在対応を検討中です。

山田委員長：ただいまの5館の公民館長からの報告に対して、質問や意見のある方はお願いいたします。

山田委員長 特にないようでしたら、次の報告をお願いいたします。

原館長（清見台）：子育て広場は人気があり、参加人数が増えています。通学合宿は45名の参加がありました。木更津高専の学生ボランティアをはじめ、地域の協力で世代間交流が活発に行われました。清見台ボードゲーム倶楽部を立ち上げ、子どもを中心に様々な年齢の大人との交流が図られ好評でした。清見台音楽祭は、新たに2幼稚園の参加により、保護者等の見学者が増えました。清見台災害

対策講座は防災に対する意識を高めながら、3. 1 1の体験を風化させないようしていきたい。男性に人気の男の料理「食道楽」は、開催日を勤労者のことを考え、土・日に変更することを考えています。

山口館長 (畑沢) : そよかぜ家庭教育学級、びよびよ親子学級、子育てフリースペースの子育て支援事業は、地域の主任児童員の協力を得て自主的な運営ができました。野山歩きのつどいの実施日を平日から土曜日に変更したところ、平日参加できない人の参加が増えました。小学生・中学生と地域との接点が少ないため、新旧住民の交流を含め子育て環境の向上を図りたい。住民の健康に対する関心が高く、健康講座の参加者が多いので、今後も継続していきたいと考えています。

事務局 (岩根西) : 若鍋館長が欠席のため、事務局から報告いたします。通学合宿の参加者は増えてきています。運営にはユースボランティアの存在が欠かせません。通学合宿の参加者が、ユースボランティアとなり、いずれは地元のリーダーになることを期待している。「生きる力」を育む事業として、ユースボランティアは青少年事業には欠かせない存在となっています。家庭教育学級の参加者が少ないことが課題です。学級生を増やす工夫と家庭教育への関心を高めるための意識の向上をどう図っていくかが今後の検討課題です。

本多館長 (西清川) : 青少年事業では、継続的な活動を通して子どもたちと地域の大人との交流を深めてきました。昔遊びなど伝承遊びを継承していく若い世代を育成していくことが課題です。高齢者学級では、日常生活に役立つ健康づくりを取り入れたところ、出席率が高くなりました。地域の課題を踏まえた健康寿命アップ講座では、事業終了後、受講生の有志が自主的に小櫃堰公園でウォーキングに取り組んでいます。西清川まちづくり協議会では、月1回防犯パトロールを実施しています。小中学生から交通安全防犯標語を募集して啓発看板を作成し、設置しました。

根本館長 (浪岡) : 「未来に地域の絆を深めよう なみおか」を目標として公民館活動を推進してきました。地域の住民は絆を求めているので、町内会の草取りなどへの参加を促すなどして意欲を高め、交流を促していきたい。地域の課題は住民の協力で解決していくような取り組みを検討していきたいと考えています。

林館長 (桜井) : 思春期家庭教育学級や真舟小家庭教育学級は、参加者が自主的に運営し、自立した学級となっています。気になる子どもを持つ親のための講座は、「参加

してよかった」「ためになる」と好評です。桜井公民館コミュニティカフェは、悩みを持つ人が気軽に参加できるようにと心掛けています。どの学級も、参加者が積極的に運営に関われるように、話し合いの時間を多く持ち、つながりを大切にしていきたい。通学合宿では、親や先生と異なる関係を講師や地域のボランティアと接する中で築いています。また、異年齢集団の中で協調性や思いやりの心を育むことができました。さくら健康ウォーキング倶楽部では、地域内に4つのウォーキングコースを設定できたことで、今後どのように活用していくかを考えていきたい。サークル連絡協議会では、公民館活動に対する共通理解を図りました。

山田委員長：ただいまの6館の公民館長からの報告に対して、質問や意見のある方はお願いいたします。

本多委員：公民館によって開館日数に差があるのは、どのような理由からですか。

事務局：資料に記載の利用統計は2月末現在の数字であり、開館日数を2月末の日数で記載した館と3月末までの日数を見込みで記載した館があり、20日程度の違いが生じたためだと思います。また、月曜日や祝日の休館日に事業を行うなどした場合は開館日が増えるため、公民館によって若干の差が生じています。

鈴木委員：重点目標に対する成果と課題に書かれた鎌足の文化祭参加人数が9人と極端に少ないのはどうしてですか。

石塚館長：記載の誤りだと思います。

事務局：別冊の事業報告書には、鎌足地区文化祭の参加人数は1700人と記されていますので、こちらが正しい人数です。

山田委員長：桜井の「子どもを怒鳴らない叩かない子育ての練習」の具体的な内容や成果について、詳しく教えてください。

林館長：国の補助金を活用した生涯学習課との共催事業として始めました。市内の小学生の親を対象にしており、受講希望者が多く大変ためになると好評です。

山田委員長：それでは、他に質問・意見等がないようでしたら、議案第2号は了承された

ものとみなし審議を終了いたします。

各公民館におかれましては、様々な団体や行政との連携を一層深めながら、来年度も地域に根ざした事業を積極的に展開されるよう期待しています。次に報告事項に移ります。はじめに、各種選出委員からの活動報告をお願いします。

松尾委員 : 第2回木更津市生涯学習推進協議会が3月16日に開催され、市民公開講座の参加状況や生涯学習フェスティバルの参加者が減少し対応が必要であること、まなび号の稼働率が高いことなどの報告がありました。

青木委員 : 木更津市社会教育委員会議は、3月25日に第4回定例会を開催の予定です。

本田委員 : 木更津市図書館協議会は、明日3月19日に第2回定例会を開催の予定です。

山田委員長 : 君公運審連については、2月9日に袖ヶ浦市民会館で「君公運審連・君公連合同研修会」が開催され、木更津市から11名の委員が参加いたしました。「地域の教育力向上と公民館の役割」をテーマに、NPO法人実践教育普及協会理事長の吉田博彦氏の講演を聴き、他の3市の公運審委員、公民館職員とともに研鑽を深めることができました。

山田委員長 : 各委員からの報告事項について、質問はございますか。
特にないようでしたら、事務局から何か連絡事項等がありますか。

事務局 : 委員の任期はあと1年残っておりますので、平成28年度も引き続きご審議をお願いいたします。平成28年度の第1回定例会は、5月10日を予定しております。正式に決まりましたら、改めてご案内いたします。

山田委員長 : 本日予定されました議事は全て終了いたしました。
これをもちまして、平成27年度公民館運営審議会第4回定例会を終了いたします。おつかれさまでした。

平成28年3月23日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
委員長 山田 治子